

(表紙)

都市防災事業計画(第3回変更)

おかやまけん たかはし
岡山県 高梁市

令和3年1月27日(当初)
令和4年1月26日(第1回変更)
令和5年2月28日(第2回変更)
令和5年12月11日(第3回変更)

(様式1)整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

本市は平成30年7月豪雨災害により、市内全域において家屋等の全壊59戸、大規模半壊81戸、半壊203戸の被害が発生した。中でも一級河川の高梁川と成羽川の合流付近及びその下流域で大きな被害が発生した。特に下流域にあたる広瀬地区の被害は甚大で、23世帯のうち17世帯が半壊以上の被害を受けた。

また、当該地区の集会所は、土砂災害警戒区域内にあり、地区内に安全な避難施設がないため、5kmほど離れた市街地にある指定避難場所に避難することになっている。しかし、当該地区は高齢者が多く、車両等で避難できない住民もいるため、災害当日はその避難のために市や消防団が車両を準備して避難活動を行うことになっていたが、避難経路である国道180号が早々に冠水したため、車両が広瀬地区に迎えず、地域が孤立してしまったことから、住民17人が逃げ遅れ、自衛隊及び消防署による住民の救出活動が行われた。

そのため、地区内に災害時に地区住民が安全に避難できる新たな地区緊急避難施設の整備が求められている。

【整備方針】

住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるよう、地域の防災性向上のため円滑な避難体制を確保し、避難者が安心して避難できるよう地区緊急避難施設の整備を行うことにより、避難困難者の発生をなくし、災害に強いまちづくりを推進するものとする。

(様式2)計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県	岡山県	市町村名	高梁市	計画期間	令和3年度 ~ 令和6年度	
担当部局名	土木部 都市整備課	担当者	浅野 喬	連絡先	TEL 0866-21-0238 FAX 0866-23-1555 e-mail toshiseibi@city.takahashi.lg.jp	

【都市防災総合推進事業】

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積 (ha)	都市防災総合推進事業 における事業期間		国費率	交付対象事業費(予定)額	
					開始年度	終了年度		(参考)事業費	(参考)国費
被災地における復興まちづくり総合支援事業	地区緊急避難施設(直接)	高梁市	広瀬地区	8.6	R3	R6	1/2	298.0 265.6	149.0 132.8
合計								298.0 265.6	149.0 132.8

注) 該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

注) 複合施設整備については、設計完了前に補助対象範囲を協議すること。

(様式3)関連事業[都市防災上の課題解決に関連する事業]

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模(面積、延長、幅員等)	総事業費 (国費ベース)	事業期間		事業実施状況	重点密集 市街地の 有無
					開始年度	終了年度		

注) 総事業費について百万円単位。

注) 地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成。

(様式4)年度別事業計画1【参考】

[上段:当初(変更前)、下段:変更後]【百万円単位】

事業区分		事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	国費率	交付対象事業費(予定)額 [国費ベース]							
							令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降		計
被災地における復興まちづくり総合支援事業	地区緊急避難施設(直接)	高梁市	広瀬地区	地区緊急避難施設整備 A=105㎡	無	1/2	11.9	8.9	0.0	128.2				149.0
							11.9	8.9	0.0	112.0				132.8
合計							11.9	8.9	0.0	128.2				149.0
							11.9	8.9	0.0	112.0				132.8

(様式5)年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

[上段:当初(变更前)、下段:变更后]【百万円单位】

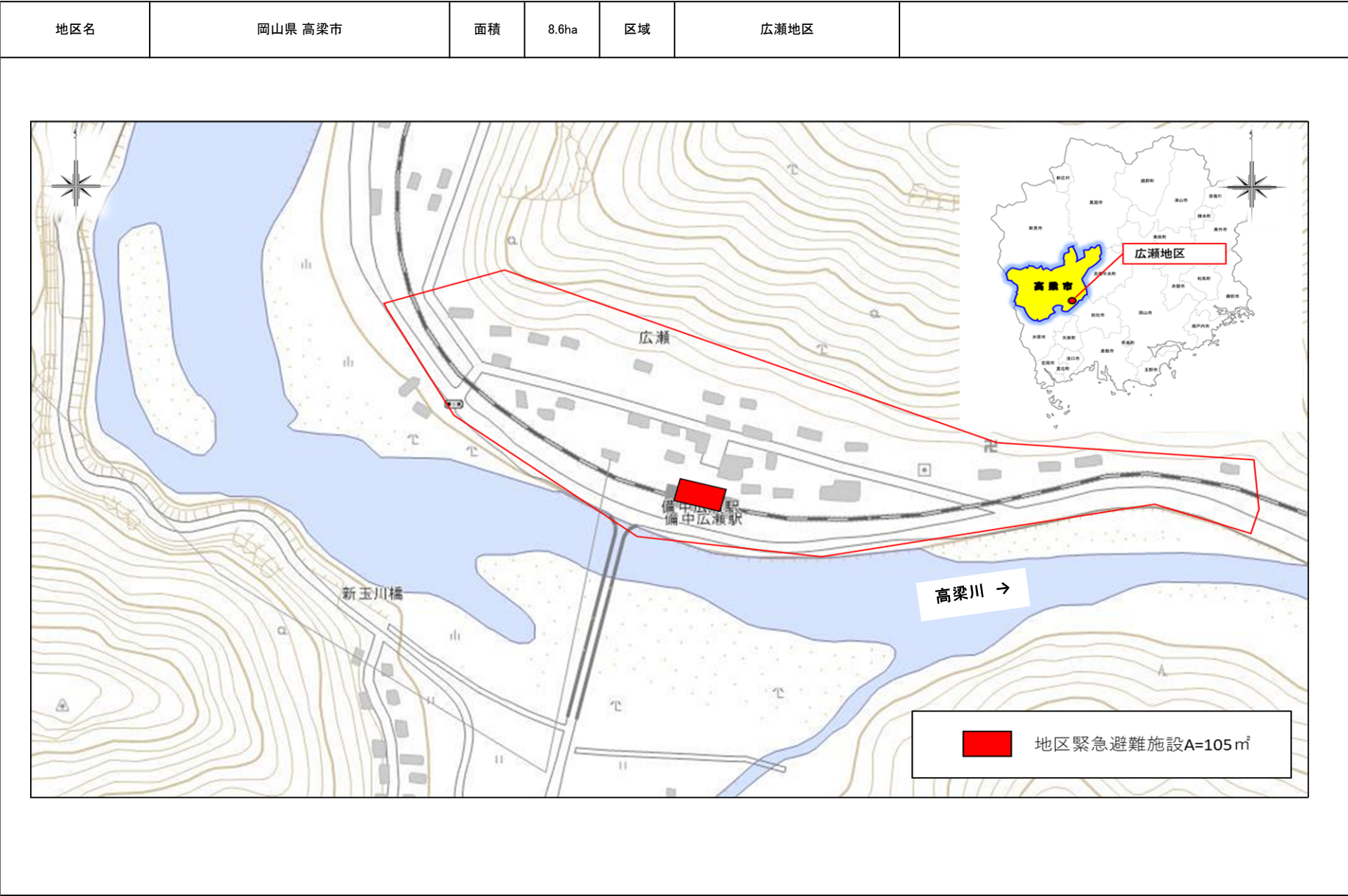
事業地区名	整備内容	整備の内訳	国費率	令和2年度 以前	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度 以降	計
広瀬地区	地区緊急避難施設(直接)	地区緊急避難施設整備(105㎡)	1/2		11.9	8.9	0.0	128.2			149.0
					11.9	8.9	0.0	112.0		132.8	
			合計		11.9	8.9	0.0	128.2			149.0
					11.9	8.9	0.0	112.0		132.8	

○用地取得面積

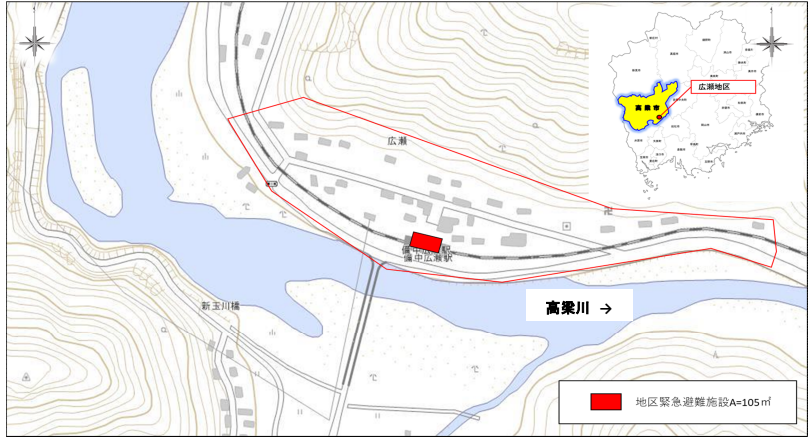
[上段:当初(变更前)、下段:变更后]【m2単位】

[illegible]

(様式6) 現況図 等



(様式6) 現況図 等 [地区緊急避難施設]

地区名	広瀬地区(岡山県高梁市)	面積	8.6ha	区域	
【地区緊急避難施設】(広瀬地区) 施設の規模及び収容人数の妥当性等 【目的】 広瀬地区は高梁川と山に囲まれ、過去にも浸水被害を受けてきた地区であり、平成30年7月豪雨でも甚大な浸水被害が発生した。 この地区の浸水想定区域内には約50人が居住しているが、指定されている避難施設までの約5kmの距離を車で移動しなくてはならないが、避難経路である国道180号は早々に冠水し通行止めになる。平成30年7月豪雨の際も、地域が孤立してしまったことから、住民17人が逃げ遅れ、自衛隊及び消防署による住民の救出活動が行われた。そのため地区内に避難施設を整備することにより、住民の不安解消を図り、避難困難者が発生しない災害に強いまちづくりを推進する。 ・広瀬地区の浸水想定エリアの人口は約50人であり、災害発生が予見された際は、早急に市街地にある指定避難所への避難を促すが、万が一の場合を想定して、住民15人※を収容する施設を整備する。 ※平成30年7月豪雨の際に逃げ遅れた人数を基に設定。 ・市の現在の地域防災計画では、収容人員の積算基準は1人あたり3.3㎡(通路部分含む)となっているが、本市危機管理部門と協議したところ、今の基準を見直し、今後は感染症対策避難所マニュアルに記載のある1人あたり4㎡程度(通路部分は含まない)を避難所収容人数の基準としたいとの回答があったことから、居住スペースの規模は4㎡×15人=60㎡程度とし、これにトイレ・備蓄倉庫等の面積を加え算定するものとする。 想定面積: 60㎡+45㎡=105㎡(避難施設2階部分) 外観透視図 (R5設計)  【施設整備イメージ】  平時及び災害時における地区の防災性向上のための活用方法 【施設概要】 平常時は、主に防災力の向上を図るため、避難訓練、研修会等を実施し、防災教育の場として利用することとするが、避難活動等がスムーズに行えるよう、地域交流の活動拠点としても活用する予定である。 災害発生時には、地区住民の避難施設として活用する。(避難施設が完成した翌年度に、高梁市地域防災計画の指定緊急避難場所に指定予定)					

(様式6) 避難困難者ゼロプログラム [地区緊急避難施設]

○広瀬地区は、高梁川と山に囲まれた地区で、過去にも大規模な浸水被害を受けており、平成30年7月豪雨においても甚大な浸水被害が発生した。この地区の浸水想定区域内には約50人が居住しているが、地区内に安全な避難施設がないため、5kmほど離れた市街地にある指定避難場所に避難することになっており、地区住民が安全に避難できる地区緊急避難施設の整備が求められている。

地区名	広瀬地区（岡山県高梁市）	面積	8.6ha	避難困難者数	50人	区域	
-----	--------------	----	-------	--------	-----	----	--

1. 避難困難者の解消計画

	地区名	地区面積 (ha)	避難困難 者数 (人)	避難困難者解消 目標年度					
				R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
1	広瀬地区	8.6	50	50	50	50	50	50	0
計		8.6	50	50	50	50	50	50	0

2. 地区緊急避難施設の整備計画

	地区名	整備内容	整備目標年度					事業費 (百万円)	国費 (百万円)
			R 2	R 3	R 4	R 5	R 6		
1	広瀬地区	地区緊急避難施設						298.0	149.0
								265.6	132.8
								298.0	149.0
								265.6	132.8

